

寫眞週報

內閣情報部編輯
六月五日・第九十號・第十七

昭和十七年五月五日刊（第一回） 第五十九號





日き佳のこの勝大海本日

海軍記念日の當日海軍陸戦隊二個大隊の精銳は、海軍大演習を先頭に歩武堂、帝都市中を行進、宮城二重橋前に至り、敬虔な「捧げ鉄」を以て奉拜した。

撮影 内閣情報部

これからの強い紫外線で眼を痛める眼病に冒される！

眼病の正しいお手當は

結膜炎でもトラホームでも早い手當が何より大切で殺菌消炎作用の優れたスマイルを一日数回、点眼してごらん下さい。眼ヤニや充血も快くとれ、眼がサツパリして迅かに軽快します。

二十五分
四十五分
各薬店にあり

新薬

ルイマス

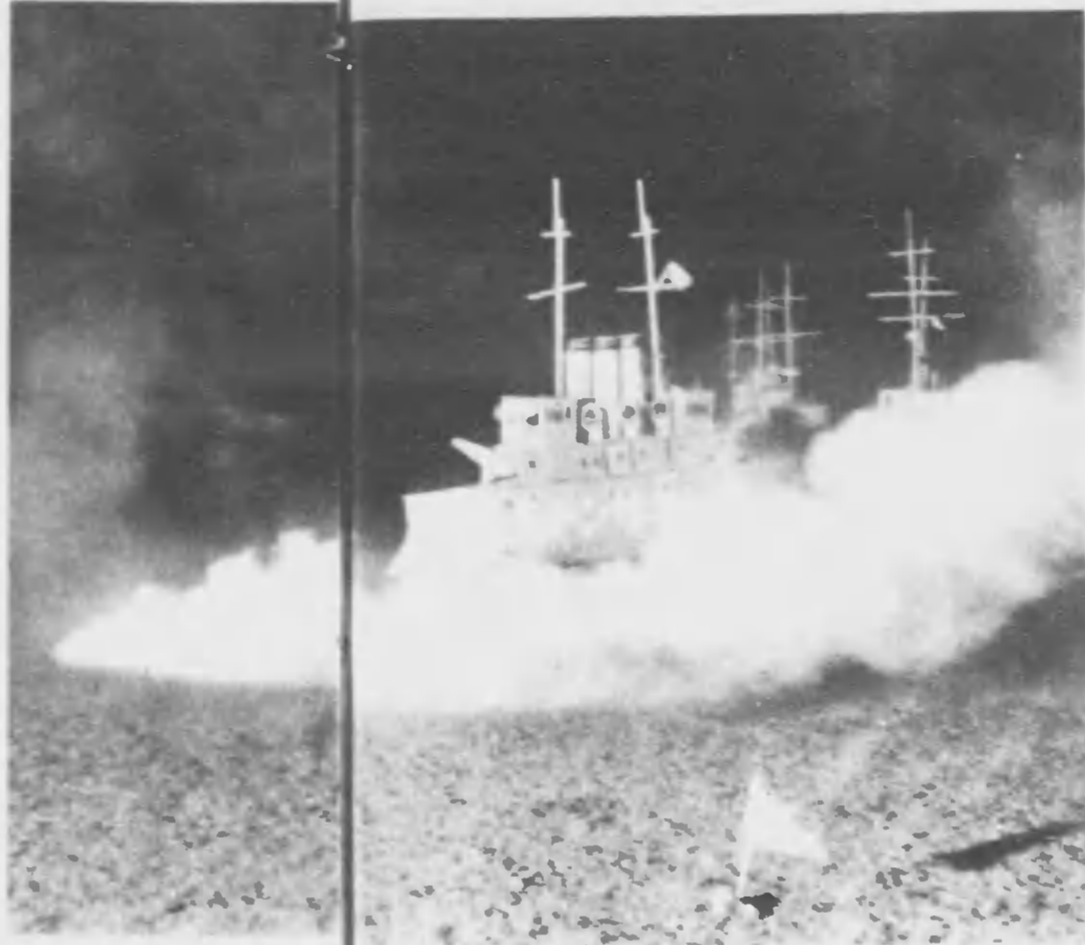
店商置玉 社合公 店理代總



日本海軍のこの佳き日

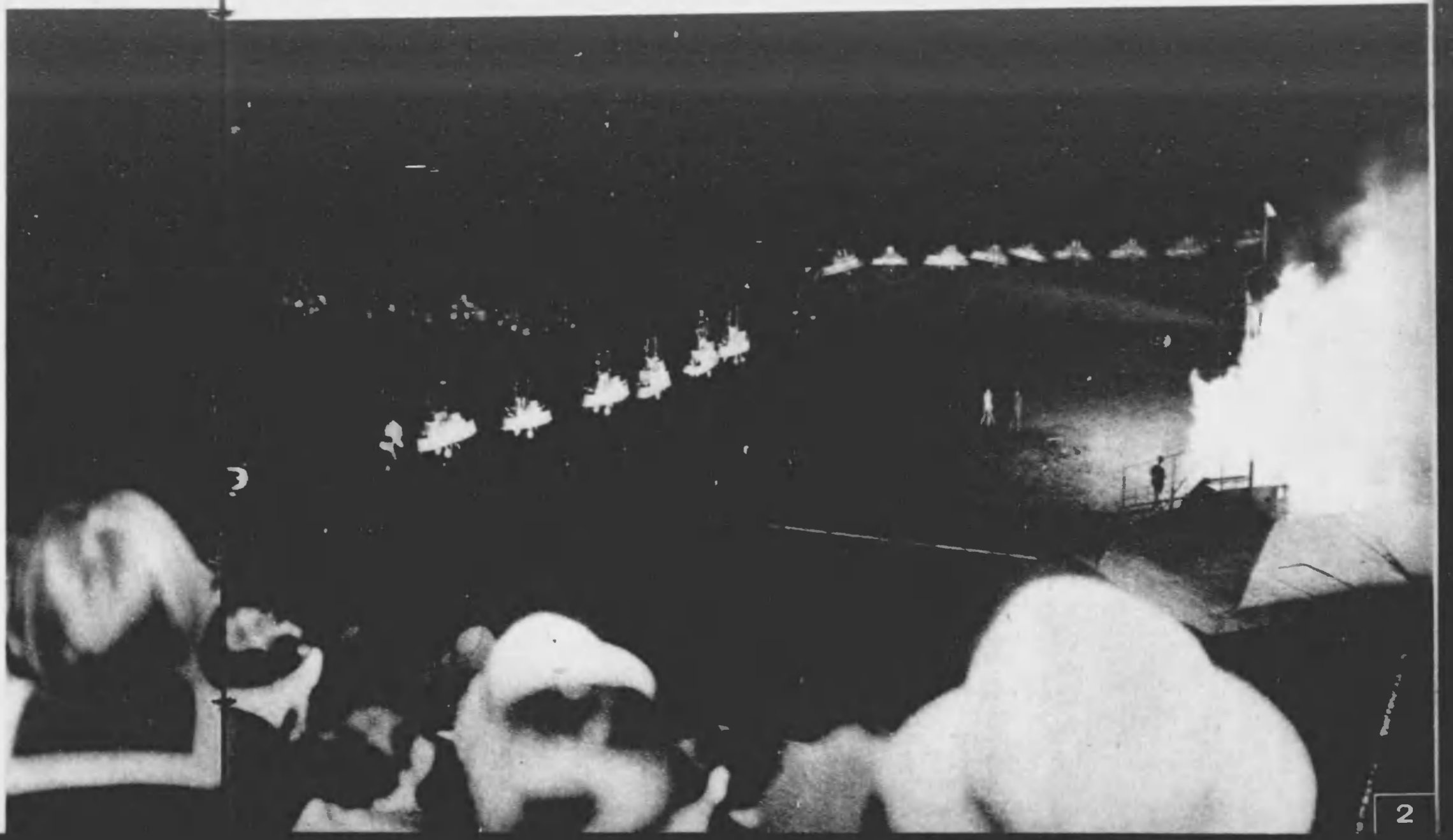
二十六日、新緑の
 隅田川に催された短
 艇操縦競技には比叡、
 夕張、姫島、瑞穂、横須
 賀助働隊の各艇クルー
 が出艇、海軍對抗のカ
 ンペリースは数萬觀
 衆の血をわかせた。特
 内中央は觀戰の吉田海
 相

風潮五月二十七日
 皇陛下三連日目の第三
 十五回海軍記念日を起
 へ、一億國民は三十五
 年前の日本海軍の思
 ひ出を新らたにする
 とともに、今更に活躍
 したわれらの海軍に深
 い感謝の念をさしげた
 この佳き日を記念し
 全国各地には様々な
 しが舉行されたが、絶
 好の海軍日和に惠まれ
 た帝都では空に海軍の
 旗を舞ひ、陸に陸軍の
 大行進が繰りひろげら
 れ、前日から行はれた
 数々の催しと相俟つて
 海軍一色にぬりつがさ
 れた



日本海軍を勇躍せ
 る大ヘーシメント
 は二十六日夜小石川後
 樂園に展開された。出
 演は海洋少年團員百五
 十名、帝國聯合艦隊旗
 艦三隻をはじめ日露の
 模範軍艦五十五隻が出
 動、上田海軍閣下少佐
 の指導である
 今宵が聯合艦隊の
 猛撃に敵艦は忽ち四分
 五裂、一弾は見事「ア
 レキサンドル三世」號
 に命中した

都下の児童少年戦士
 學徒、婦人勞働者、勤
 勞青年等各分野の若人
 約一千名からなる吹奏
 樂大部隊は、二十六日
 朝日神社を夜に大行
 進を開始した



戦線早急 炎熱百度



大陸の太陽は暑い程強烈に直射する。三月に入ると早くも兵隊達の熱苦への抗戦が開始される。六月、七月の突如下に行はれる行軍の暑さに耐えては全く言語に絶するものが...

水が飲みたい、甘い物が欲しい、いや欲しい、いとおそろいな心理的な嗜好の問題ではない、生理的な必要問題である。それがないければ身が持たず、まして絶対的な必要品である...

大陸の太陽は暑い程強烈に直射する。三月に入ると早くも兵隊達の熱苦への抗戦が開始される。六月、七月の突如下に行はれる行軍の暑さに耐えては全く言語に絶するものが...

中央政府の成立によって、新支那の建設は着々と進められてゐる。だがこれでは事は進まずにはならない。本だ監獄を供つてゐる監獄はこれの新政府の成立を「武力に頼つた日本は政治の支那に代つた」と運用し、また「わが軍は強運運の戦術によつて日本軍に打撃を與へてゐる」などと、むしろ狂的なデマ放送で民衆の抗日熱をあつてゐる。

そこで行はれたのが今度の北支、中支（晋南、青陽、江蘇）遠征方（）における抗日軍共軍の積極的な大掃蕩作戦である。戦地はいま初夏の候ながら大陸特有の熱風が、吹きまくる。戦地にはわが兵は身熱とあらゆる困難を注して敵軍の進軍を遅らせてゐる。

雨が降れば泥濘が足を奪へ、降りぬ日には黄塵が目を奪へ、時には性燥りもない敗残兵の逆襲がある。こんな苦痛と困難を幾十回、幾百回と繰り返して、矢張り兵隊達は南支北支といはれるこの大支那の地を、戦にも疲...

歩軍を通じて兵隊の疲れた顔が、いかに勝利の甲...

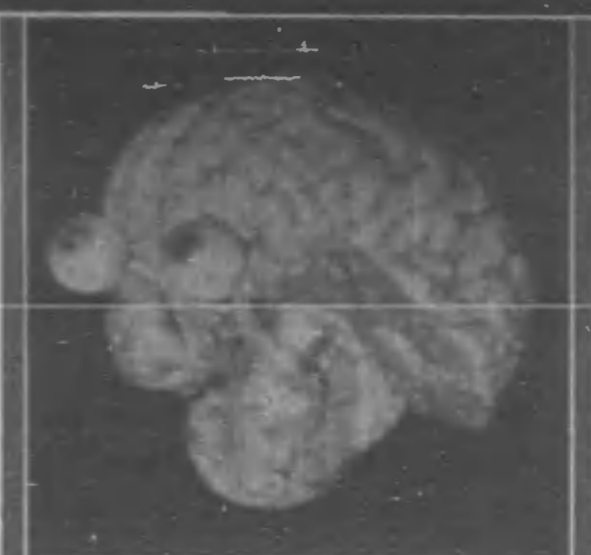
支那軍に對しては、彼等は焦げつく太陽にも、降り続く猛雨にも、泥濘にも、黄塵にも、コレラにも、マフリアにも、一切の恐るべき悪条件に對して、片時も怠らぬ心身の訓練によつて即ちかな勝利を宣いつつあるのだ。

津吉 英 男

架橋の工兵はもう果敢だ。橋の出来上るのを今かくと待つてゐる友軍のたれを思つて飯を食つてゐる暇もない。

撮影 上海プレスユニオン 及、同盟通信社





近視は かろうして 防ぎませう

わが國は恥しいことながら世界一の近視國です。それが證據にあなたの方の周囲の人々を
ご覧下さい！そこには必ず近視鏡をかけた
人があつてみえます。それも道理で、これを統計
によつてみますと、近視は全國小學生の三割
を占めてゐます。従つてそれが壯丁になる頃
には、二倍の六割にも増加することになりま
す。又事實高校生や大學生になると六割五分
から七割近くになるといふ有様です。しかし
この近視が、どの文明國にも一律にたくさん
あるといふならばやむをえません。が、わが國
のはダントツと飛抜けた有難くない世界一で、諸
外國の近視は、現在では國民の努力で撲滅し
つゝありますから問題にならぬ程少いのであ
ります。

ご存知のやうに近視は近いものは良く見え
るが、遠いものはボヤケてはつきり見えない
といふ一種の眼球の不具合であり、一度罹つた
ら治らない疾病なのです。ところがわが國民
はこの近視を體力の缺陷として恥ぢるどころ
か、むしろ眼を酷使して眼鏡をかけることを
誇りと考へ、帽子をかぶる程にも気にしてゐ
ません。これは非常に間違つた考へであつて
是非改めなければならぬことです。

最近ますます増えつつあるわが青少年の近
視は國民の正常な健康體を保つといふ點から
も亦正しい視力を必要とする産業戦士として
の資格からも、國防上からみても由々しき大
問題であります。

この際われわれは近視を恥ぢる自覺を持ち
その豫防に全力を挙げ將來は「近視世界一」
の名を返上し、「炯々たる正視」をもつて世
界を睥睨しようではありませんか。ここに
その豫防法を紹介しましょう。



撮影 望月文吾

強いからだは近視を防ぐ
食物はよくかんで、充
分食べ、戸外に出て大
に日光に親しみませう。
そして運動も毎日規則正
しくしませう。
休み時間に運動もしな
いで直射日光の下で勉強
するのはやめませう。

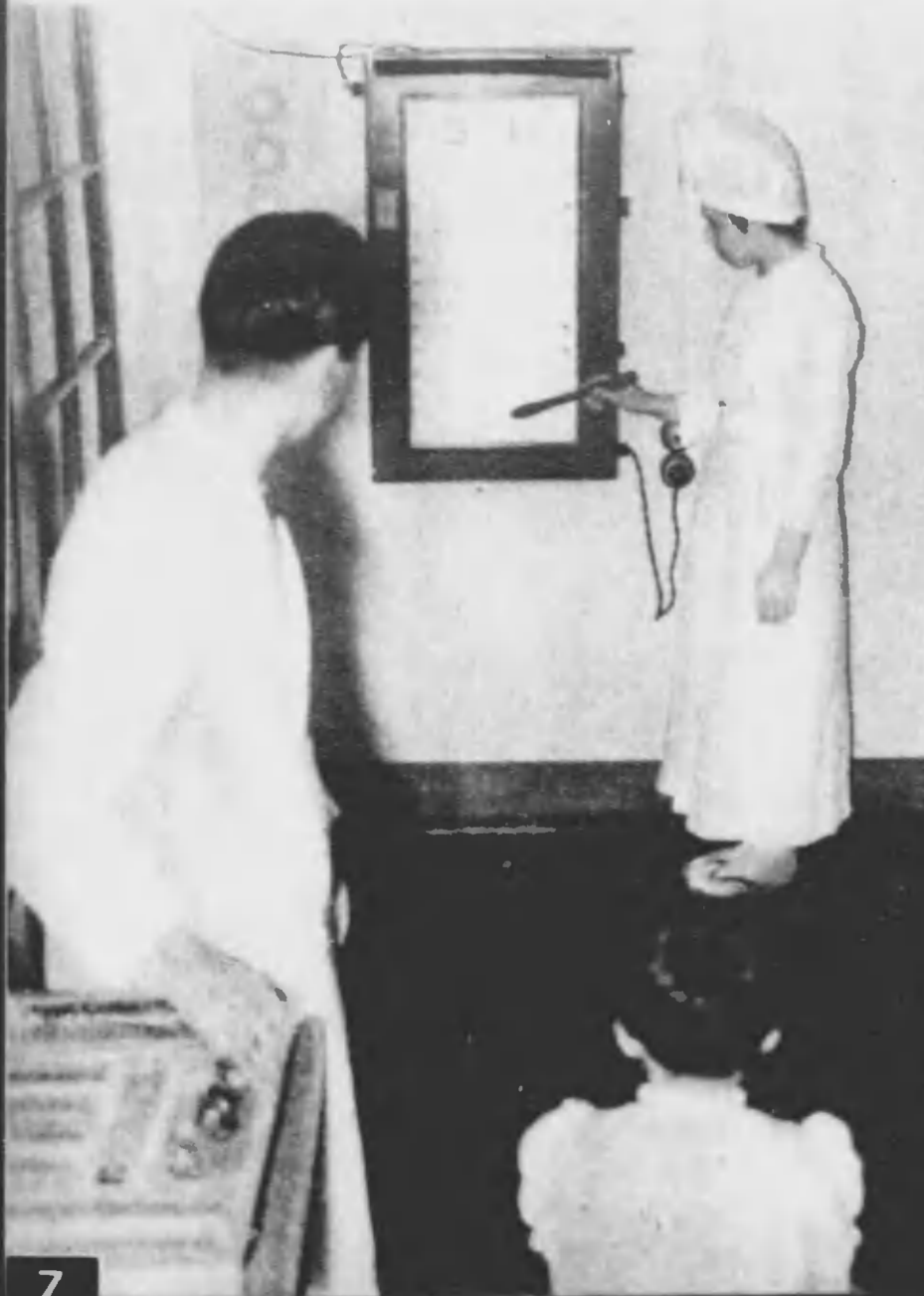


読みよい見よい
書物を選べ
本や雑誌は大きい文字
のものを選び、見にくい
色刷や、印刷の不鮮明な
ものは避けませう。文字
は軟い鉛筆で、濃く大き
く書きませう。



寝も夜も眼によい明り
勉強は充分明るい處で
しませう。ですがその場
合直射日光やギラ／＼す
るむき出しの電球は眼が
疲れますから避け、明り
は左上方からとりませう
寝ころんだり、寢床の中
で本は讀まぬことにしま
せう。

姿勢正しく・机で勉強
勉強するには、机に向
つて、眼と机の距離は三
〇センチ以上とし、上半
身をすつと起して真直ぐ
にしませう。
(一)机は十五度位の傾斜
を持たせたものがよい
とされてゐます。
(二)机、椅子の高さ割合
がからだの大きさに合
つてゐること。
(三)机と椅子とは離れ過
ぎないやうに深くかけ
ること。
如何に机、椅子が完全
でもこの兒童のやうにう
つむいたり、椅子のかけ
方が淺かつたりするのは
いけません。



法幣とは何でせう

小栗 銀三

支那事務が始つてから、支那の法幣の問題がいろいろと議論の上で、
「法幣とは何でせう」といふことがあつた。
が、まづ、實際の問題に取つて見れば、

「法幣とは何でせう」といふことは、
「法幣とは何でせう」といふことは、
「法幣とは何でせう」といふことは、



必要の問題は、
「法幣とは何でせう」といふことは、
「法幣とは何でせう」といふことは、

「法幣とは何でせう」といふことは、
「法幣とは何でせう」といふことは、
「法幣とは何でせう」といふことは、

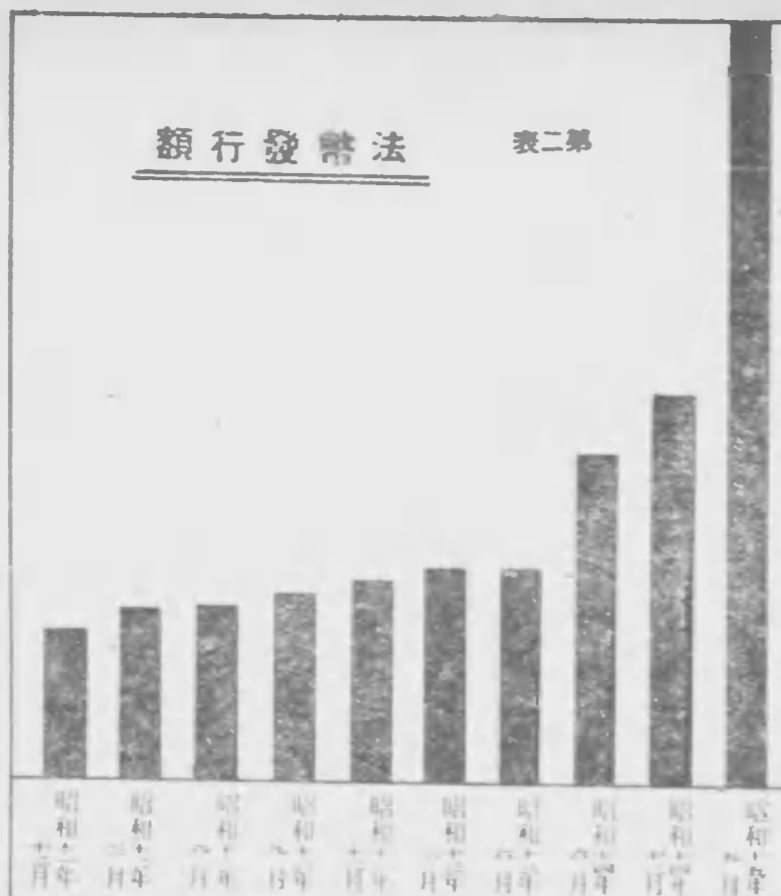
表一 法幣の発行額

年次	12月	6月	12月	6月	12月	6月	12月	6月
昭和十一年	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000
昭和十二年	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000
昭和十三年	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000
昭和十四年	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000

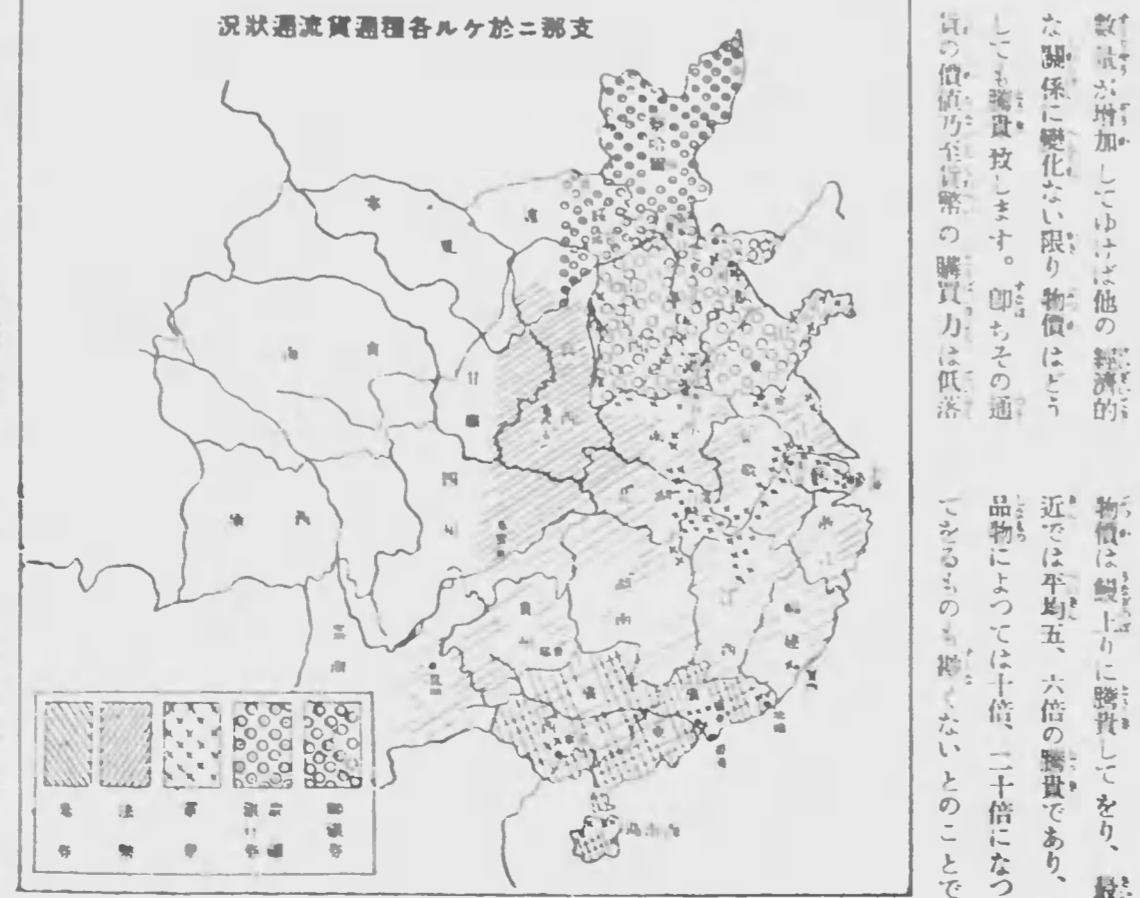
法幣の流通は、
「法幣とは何でせう」といふことは、
「法幣とは何でせう」といふことは、

「法幣とは何でせう」といふことは、
「法幣とは何でせう」といふことは、
「法幣とは何でせう」といふことは、

「法幣とは何でせう」といふことは、
「法幣とは何でせう」といふことは、
「法幣とは何でせう」といふことは、



「法幣とは何でせう」といふことは、
「法幣とは何でせう」といふことは、
「法幣とは何でせう」といふことは、



「法幣とは何でせう」といふことは、
「法幣とは何でせう」といふことは、
「法幣とは何でせう」といふことは、

「法幣とは何でせう」といふことは、
「法幣とは何でせう」といふことは、
「法幣とは何でせう」といふことは、

「法幣とは何でせう」といふことは、
「法幣とは何でせう」といふことは、
「法幣とは何でせう」といふことは、

「法幣とは何でせう」といふことは、
「法幣とは何でせう」といふことは、
「法幣とは何でせう」といふことは、

文部省推薦映画

病院船

文部省推薦の映画は、戦時中、戦後を通じて、国民の心を豊かにし、道義を樹立するに努めた。その一つとして、戦時中、戦後を通じて、国民の心を豊かにし、道義を樹立するに努めた。



病院船の物語は、戦時中、戦後を通じて、国民の心を豊かにし、道義を樹立するに努めた。その一つとして、戦時中、戦後を通じて、国民の心を豊かにし、道義を樹立するに努めた。

文部省推薦の映画は、戦時中、戦後を通じて、国民の心を豊かにし、道義を樹立するに努めた。その一つとして、戦時中、戦後を通じて、国民の心を豊かにし、道義を樹立するに努めた。

民族の祭典



民族の祭典は、戦時中、戦後を通じて、国民の心を豊かにし、道義を樹立するに努めた。その一つとして、戦時中、戦後を通じて、国民の心を豊かにし、道義を樹立するに努めた。

次代国民の育て方

竹内茂代

Table with 4 columns: 名 (Name), 作 (Author), 種 (Type), 在 (Location). It lists various vitamins and their effects on children's health.

ビタミンは食物の中に含まれ、動物の生存に大切な役割を担っています。ビタミンの不足は、成長を妨げ、健康を損ないます。

ビタミンB1は、エネルギーの代謝に不可欠な栄養素です。不足すると、疲労感や食欲不振を引き起こします。

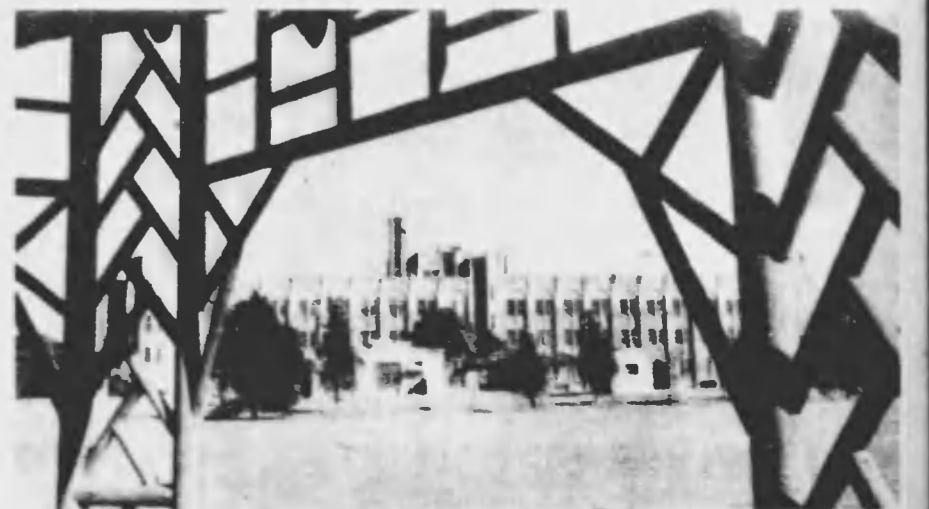
Advertisement for '幼見標準絵本' (Children's Standard Picture Books) by 鈴木仁成堂 (Suzuki Ninsei-do). It lists various titles like 'カハノタビ' and 'オウキサマ'.



大陸建設に 日支協力の 科学陣

上海自然科學研究所

上海自然科學研究所
上海自然科學研究所
上海自然科學研究所



新大陸の建設に科学陣の参加を標榜して、日支の學徒が一致協同眞實な努力をこめてゐる科学の殿堂に上海の自然科學研究所がある。

この研究所は、世界の目覚ましい進歩から取りのこされた支那大陸の自然科學を日本學界の協力によつて振興せよとの目的で昭和六年開設されたが、後、滿洲事變、上海事變が起つて以來絶えず蔣介石下の舊國民政府から不當な壓迫を受け、眞實な研究をつゞけようとする日支學徒は非常な苦難と戦はねばならなかつた。

支那事變が勃發して上海が戦亂の巷と化したときも、研究所員は断乎として科學の低城を護つて離れず、幸ひ兵火を免れることが出来た。そこで事變下にもかかわらず日支學徒は益々固く手を執り合つて研究に従事して来たが、今、日支協力の大陸建設が叫ばれるに至るや、研究所は全部門を動員、全所員が一致して建



設の大業に参加すべく立ちあがつた科學者として建設に協力するものうちでも、殊に資源の開発、各種産業振興の先驅として、今もなほ敵寇襲撃の出没する占領地域内を跋渉、種々な調査に従事する日支研究員の勞苦は銃を執る兵士と何ら變る所はない。既にかうした調査行中荒涼たる山野の果てに敵弾に撃れた人すら出してゐる。

大陸建設には何といつても科學研究がこの礎石とならねばならない。上海自然科學研究所はいまこの貴い礎石を築くべく調査に研究にかくれた努力を獻げてゐる。

- 1 醫學部細菌學科研究室には若い支那人學徒が日本人研究員の指導をうけつゝ、上海ではどんな種類のチフスチリヤが流行してゐるかを培養したチフスチリヤ菌で試験する。
- 2 草根・木皮・魚眼・岩石などを原料とする支那在來の漢方醫藥には科學的研究が行はねばならない。
- 3 理學部植物學科研究室の標本には大陸のあらゆる植物の標本が標本として蔵されてゐる。この研究室での地味な調査研究がやがて大陸の森林畜産學の改良振興に役立つのである。
- 4 大陸各地に無盡蔵に埋藏されてゐる礦産資源開發のためにこの地質學研究室からは幾人かの研究員が過酷な各地に派遣され、その中には貴い犠牲者さへ出してゐる。今苦心して集められた各種岩石の見本が整理され研究されてゐる。
- 5 物理學研究室の無線電氣實驗室では大陸の電氣通信事業發達のために眞實な實驗がつづけられ、わが青年研究員の一人は支那人助手と協力してラジオの電波の高解圍到達距離測定、高解圍の状態研究に時のたつのを忘れてゐる。

攝影 鈴木實

第一高等學校生徒十五名は北岡同校教授引率の下に、このほど佐世保を出帆、南支海軍部隊訪問見学の旅行を行った。一行は全日程三十九日間にわたり、廈門、汕頭、廣東、海南島北西南諸、欽縣方面等殆んど南支沿岸の要地を一巡し、貴重な牧獲をあげた。本文は一生徒のいつはらさる印象記である。

僕たちの南海南島



海南島には無数の牛が放牧のまゝ原野に彷徨してゐる。

こんど海軍各方面の非常な御好意によつて、南支沿岸の要地を訪ねることができ、色々と深い感銘をうけ、自らの感想の湧き上るのを筆に得ない。今それの中から大なるもの三つを大括りに述べて見よう。

第一に所謂時局の認識である。今まで頭の中に單なる知識として集積されてきたものが、國民的な感情として澎湃と高まつて来たりを覚える。東亞新秩序といひ、東亞の大東といふ、一應の理解はできてをりながら、自分自身の死活的問題といふ血の叫びにまで到らなかつた。これらの言葉が、今や私の胸に強く燃えてゐる。

第二に海に對する認識を述べたことである。支那は大きいといふ。成程大きい。しかし海上を一巡したが見た所では、かへつて小さく小さいといふ感じを受けたといひ得る。大陸認識といふ點からいへば重大な誤りかも知れないが、しかし海が大陸に對していかに大きな役割を演ずるものであるかといふことをつくづく考へさせられた。現在日本がこの海を完全に抑へてゐることは實にすばらしい。それが餘りに完全なるがゆゑに、よきすれば、世人に忘れぬ勝た制海權確保の有難さをもう一度深く考へさせられ、海上封鎖部隊の勞苦に心からなる感謝の念を捧げずにはおられない。

第三に海南島に對する認識である。海南島が内地に對して傳へられてゐることは實に驚きはかりで、ある者は驚きのあまり、ある者は地獄のやうに思ふ。しかし私は、いかにたいへん海南島は地獄でも寶島でもない。人間が汗み、力、努力と第で、成果をあげうる所である。そしてその資源は未だ殆んど未知数であるが、未知数なるが故に私はこれを内輪に考へたいと思ふ。

以上は簡單でいひつくさぬ感銘はあるが、私の感想中の重要な三點である。

山今度の見學旅行で得た各地の印象は数多いが、こゝではそのうち最も深く私の胸に焼きついてゐる欽縣について述べよう。南支沿岸の激戦地としてまた世人の記憶に刻まれた欽縣の印象は何ともいへない。強ひて現せば實に凄壯、廢墟の二句に盡きる。欽州灣の邊境の中で、電光石火に繰り返した夜目にも生々しい道路をトラックに揺られ揺られて欽縣に入つた時は、既に夜も大分進んでゐた。同じやうな白い四角の家々が街路を挟んで闇の中に消えるともなく馬れてゆく。住民は一人も復歸せず、扉は皆固く閉ざされたままで人気がない。物狂はしいやうな聲がさす中に燐燐の光もわびしく、被れ切つて泥にまみれた兵士が苦しげに眠つてゐる。欽江は光も鈍く、どろりとして流れるとも見えぬ町の角々の歩道の鉄釘がヘッドライトにキラキラときらめく。私は海南島で様々な建設の姿を見、事變の明るい半面を力強くも眺めてきた。しかし、こゝで私の見たものは、戦争のいたましくも暗い他の半面であつた。海南島の明るさも、欽縣の暗さあつてこそであらう。だがこの地が再び光明の中に立ち歸るのには果していつの日であらうか。海南島と欽縣と、この對象に私は深刻にも興味深い戦争の姿を見たのであつた。

1市のたつ日、土民は諸々作物をひつさて日用品の交換に出かける。2島の上民である黎族は細長い杵で米を搗き、俵を混せて粥として食べる。3米は海南島の主産物の一つである。土民は寫眞のやうな水車をふんで田に水をひく。4この島には所々に温泉が湧出する。日本軍占領前までは土民は神の怒りとして祠を建て供物を供へてゐた。今は海軍の手で清潔な風呂場ができてゐる。これは崖際附近の一温泉。5旅費を洗ふ一高の健児。6樂隊のやうなものを指先で廻して綱から糸を作りそれをからいふ原始的な方法で織る。

糧食帯携の越卓質品るあ評定

品食の治明

味の愉しさ
栄養の豊かさ

いろいろあり
四十数種あり



社 會 式 株 菓 製 治 明

開太豊るま鎮に山豊



高野山大師教會本部での開眼法要
木箱に納められた豊公木像



撮影 大阪毎日新聞社

徳川幕府をはなれて高野山孔雀堂に長い間身をひそめていた「豊公」の木像は、豊公會の人達の手できれいに磨きかへられ、上る五月十七日の深夜高野山金剛峯寺でいとおごそかな開眼式がとり行はれた。國家總力戦の強調される今日、既に四五百年昔の非常時を乗り越え、切り抜け、國內統一は勿論、外に向つても大いに國威を宣揚した世界的英雄豊公の偉大な精神は、昭和のわれわれにもぜひ必要であつて、戦時下の今日大いに豊公の偉功を顕彰したいといふのが豊公會の今回の奉納の意旨であつた。

豊公像を容れた木箱前に石棺に納らんとす



深山の淵を繞つて奥院へ進行行列



復習室

本報からあなたは何を學んでせうか？

- 1 われ／＼一億の國民が一日に一粒づつのお米を節約すると一年では何石ぐらゐの節約となるでせうか？ (9頁)
- 2 法幣とは 道教のお札？ 支那で法律のことをいふ？ 蔣介石側のお金？ 支那の農民が家を建てたとき飾る御幣？ (12頁)
- 3 ビタミンCが缺乏するとどうなる？ 夜盲症？ 壊血病？ 脚氣？ (15頁)
- 4 假性近視と近視とはどう違ひますか？ (8頁)
- 5 欽縣とは 北支にあり、徐州作戦に未曾有の戦果のあつた所？ 中支にあり、南昌作戦のわが根據地？ 南支にあり、南支作戦の激戦地？ (22頁)
- 6 太郎さんは夜勉強するとき、電燈を右上方におきますが、眼のためにはこれでよいのでせうか？ (7頁)
- 7 圓元パーとはどんなことですか？ (12頁)
- 8 黎族とは 海南島の土民？ 支那新疆方面の住民？ カムチャッカ半島の原住民族？ (22頁)
- 9 假性近視は何のために起りますか？ (8頁)
- 10 大陸建設に科學陣の参加を標榜して努力をつけてゐる上海自然科學研究所には支那の學徒ばかりかゝるのでせうか？ (18頁)

一問十點としてあなたは何點でしたか？

★表紙

淺間山麓の丘陵がゆるやかに盡きるところ村の乙女は點々と桑を績む。空青の初夏の陽は強いが、深緑の桑葉を渡る柔かい風は乙女の胸は明に開き、早くも縁の中を軽いメロデーが流れて来る。あら！お光ちゃん、の唄だわ！桑摘む手を休め乙女はしばし聞きほれる

撮影 國際觀光局

所 込 申	價 定
内閣印刷局發行課 電話九ノ内(23)三五一九 郵政省東京一〇〇〇〇	一冊十錢(送料共)
全国各地官報販賣所 東京都書籍株式會社 各書店・販賣店 各新聞販賣店 寫眞材料店	郵料共一冊十錢(送料共) ▲外郵便に依る地域は(送料共)一冊十九錢 ▲海峽植民地(郵料共)一冊十九錢(外郵便に依る地域は十九錢)の割合を以て前金を添へ御申込み下さい ▲特大號の場合は其の都度御申込みより差額を申受けます
昭和十五年六月五日 印刷發行	寫眞週報(禁轉載)
編輯者 内閣情報部 印刷所 東京市麹町區本町 内閣印刷局 發行所 東京市麹町區本町 内閣印刷局	

支那事變

報國債券



貯蓄債券

六月十五日、七月十日 出賣
一枚 四十、五十 円

大藏省・日本勸業銀行

東京新聞 昭和十七年七月十五日 第三千七百七十七號

内閣印刷局印刷發行